



日本磁器誕生・有田焼創業400年事業

平成27年度 事業計画

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会

400 日本磁器誕生・有田焼創業400年事業

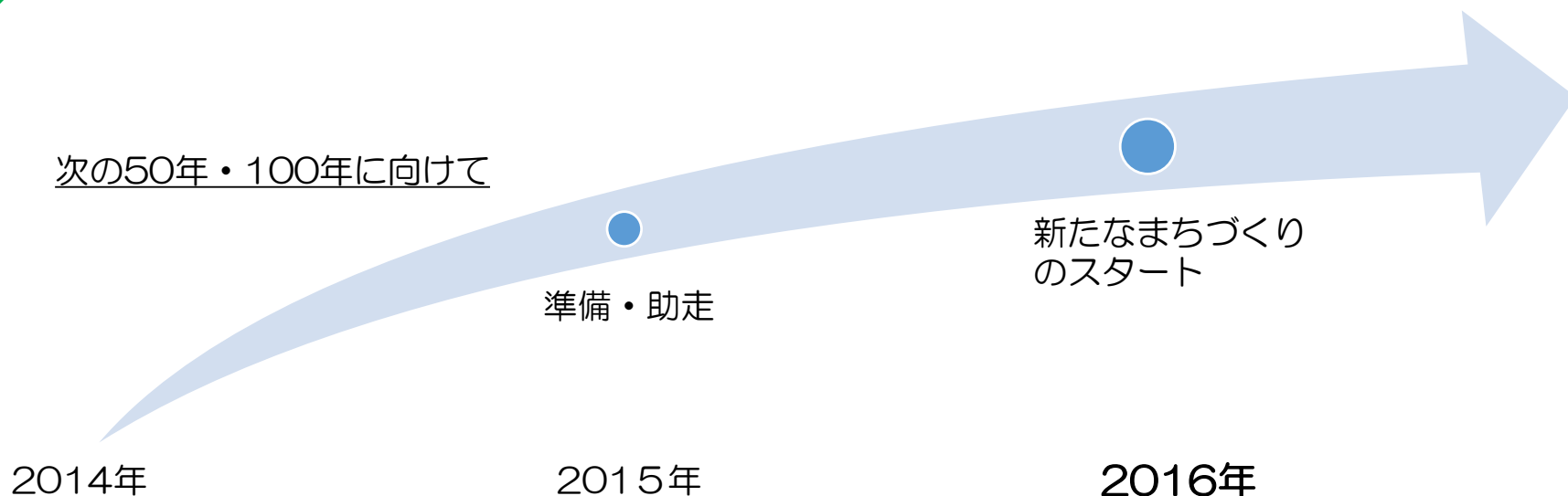
目指す町の姿

400年の歴史と伝統を誇る有田焼を生み出す産地としての魅力と活力にあふれ、豊富な地域資源を活かした交流人口の増加が図られている。

- I. 町の地場産業として陶磁器産業が活気にあふれている。
- II. 有田の地域資源を活用した観光の町として魅力にあふれている。
- III. 有田焼400年の歴史に培われた伝統文化が継承され、地域に根ざしている。

取組みの方針

有田焼創業400年（2016年）が、有田焼の産地としての次の50年・100年に向けた持続可能で魅力的なまちづくりの第一歩【新たなまちづくりのスタート】となるよう、佐賀県をはじめ、関係団体等と連携・協力しながら各種事業に取り組みます。





日本磁器誕生・有田焼創業400年事業

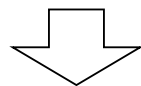
事業 体系

有田焼400年の歴史と伝統を誇る産地として、次の50年・100年に向けた持続可能で魅力的なまちづくりの第一歩とするため、『産業の振興』『観光の振興』『伝統文化の振興』の3つの視点で、各種事業を推進します。

産業の振興

観光の振興

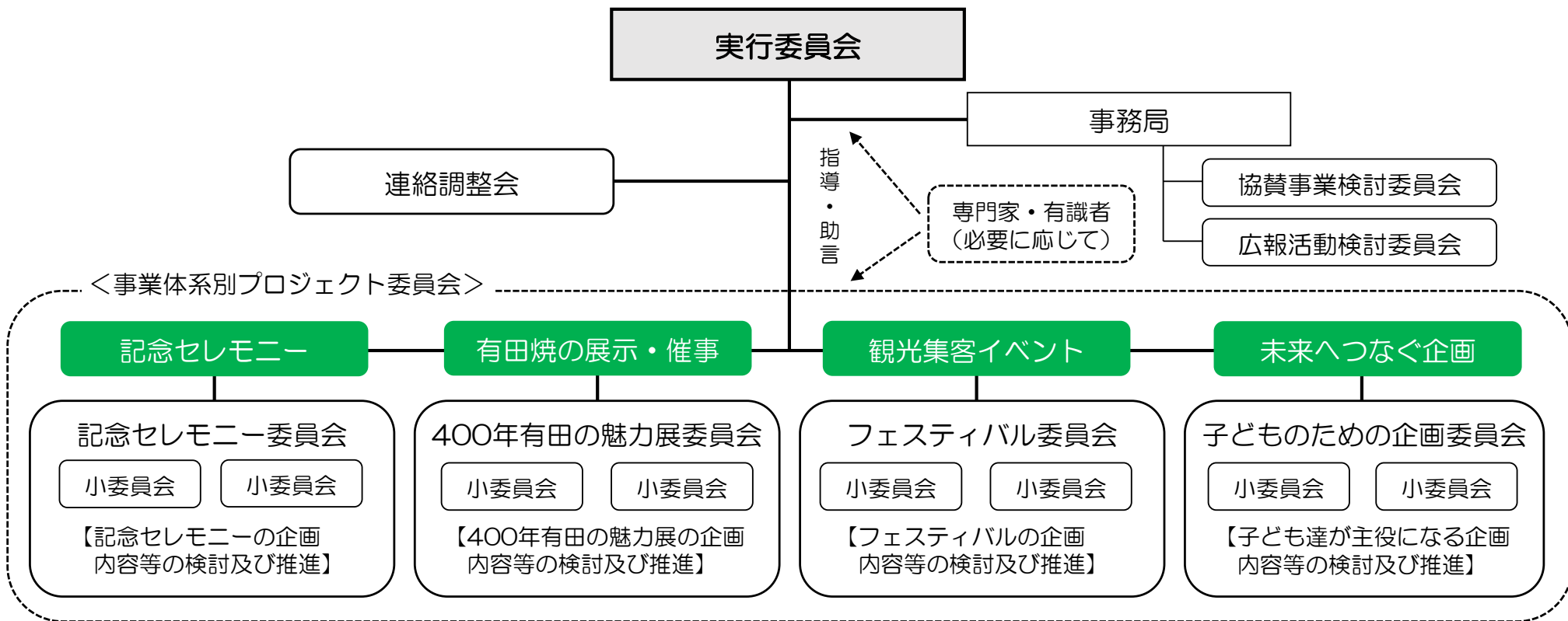
伝統文化の振興



記念セレモニー	有田焼の歴史を振り返り、伝統を築いてこられた先人の偉業と労苦に感謝するとともに、次の50年、100年に向けた励みや新しいスタートとする。 日本磁器誕生・有田焼創業の地として国内外に広くアピールする。
有田焼の展示・催事	産地全体の取り組みとして、価格とブランドの信頼や情報発信力が高い主要百貨店において、有田焼の付加価値や魅力を多くの人に発信するとともに、今後の販路拡大につながる関係や体制等を再構築するきっかけとなる有田焼の展示・催事を行う。
観光集客イベント	今後の継続的な地域活性化につなげるために、地域資源を活用した観光のまちづくりを目指して、新たな観光サービスの創出や担い手づくりにつながる仕組みづくりの場として、魅力満載の観光集客イベントを行う。
未来へつなぐ企画	将来を担う子供たちが、有田焼や有田町の歴史・伝統・文化等について学び、知ることで、郷土に愛着を持ち、誇りに思う心情を育てるとともに、地域の良さを再発見することを通して、将来的な地域活性化にもつなげる。

推進体制

1. 取組みの方針に基づき各事業の企画内容等を検討し、機動的な事業推進を図るための実動組織として、実行委員会の下に関係者等で構成する事業体系別の委員会を設ける。
2. 各事業のとりまとめや全体調整等を行い、円滑な組織運営を図るため、事業体系別の委員会代表者等で構成する連絡調整会を設ける。
3. 協賛事業や広報活動に関する検討を行うため、事務局の下に協賛事業検討委員会及び広報活動検討委員会を設ける。



個別事業概要【主催事業】

記念セレモニー — 記念式典・レセプション —

目的・意義

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業のシンボル事業として、有田焼の歴史を振り返り、伝統を築いてこられた先人の偉業と労苦に感謝するとともに、次の50年、100年に向けた励みや新しいスタートとする。

国内外の関係者・要人等を迎え、日本磁器誕生・有田焼創業の地として国内外に広くアピールする。

事業概要

■開催時期

2016年10月22日（土） ※翌日10/23（日）開催予定の有田皿山まつりと連携

■開催場所

焔の博記念堂（記念式典：文化ホール、レセプション：コンベンションホール）想定

■実施主体

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会

※有田焼の歴史的な背景やつながりを考え、関係自治体や県下に広がりを持たせた式典にするために、佐賀県及び佐賀県有田焼創業400年事業実行委員会との連携による開催を視野に検討を進める。



H27事業概要

■開催に向けた諸準備（実施計画等の策定、参列者等の検討・調整、プログラムの企画検討など）

■関連企画として、記念誌や記念碑等の制作についての検討、準備など

■関連イベントとして、2015年大みそかのカウントダウンイベントの準備、実施

2015年度				2016年度			
企画内容等の検討	→	実施計画策定 (9月)	→	次年度 予算化	→	● 記念式典・ レセプション	
企画内容等の検討	→	事前準備・PR	→	● 加わら ない	→	○ 記念誌・記念碑等	
		詳細検討		開催準備			

個別事業概要【主催事業】

記念セレモニー — タイムカプセル開封・封かん —

目的・意義

有田焼創業350年事業で取り組まれた当時の関係者の思いを引継ぎ、更に有田焼創業400年を迎える2016年の現状や思いも込めて後世に伝承するために、先人陶工の碑落成時に埋設された当時の収納物の一部開封と次の50年、100年に向けて新たな収納物の埋設を行う。

事業概要

- 開催時期
2016年夏頃 ※詳細な日程等については関係者等と今後調整・検討
- 開封・封かん場所
先人陶工の碑
- 内容



有田焼創業350年事業の一環として落成された先人陶工の碑の基壇に埋設されている当時の収納物のうち、2016年に開封することとされている一部についてタイムカプセルの開封式を行い、収納物を当時の関係者や一般にも公開するとともに、次の50年・100年に向けて新たな収納物を埋設する封かん式を行う。

H27事業概要

- 開催に向けた諸準備（関係者等と企画内容等の検討、実施計画等の策定、事前準備など）

2015年度				2016年度		
企画内容等の検討	→	実施計画策定 (12月)	事前準備 →	次年度 予算化	→	● タイムカプセル 開封・封かん式
				開催準備		

有田焼の展示・催事 — 400年有田の魅力展 —

目的・意義

『伝統そして未来への継承』を理念とした産地全体の取り組みとして、価格とブランドの信頼や情報発信力が高い主要都市の百貨店において、有田焼の付加価値や魅力を多くの人に発信して有田焼ファンの開拓を行うとともに、今後の販路拡大に繋がる関係や体制等を再構築するきっかけとなる有田焼の展示・催事を行う。

事業概要

■開催時期・場所

2015年（平成27年）9月30日（水）～10月5日（月）	日本橋三越本店	本館7階催事場
2016年（平成28年）2月24日（水）～2月29日（月）	阪急うめだ本店	9階ギャラリー内
2016年（平成28年）3月9日（水）～3月14日（月）【予定】	福岡三越	本館7階

※2016年度（平成28年度）についても、他の主要百貨店での開催を現在検討中。

■企画内容 ※詳細な内容等については関係者等と今後調整・検討

①有田焼400年の歴史展

日本の陶磁器文化の中で重要な役割を果たしてきた有田焼の400年の歴史について、一般にも身近なものとして分かりやすく感じてもらうために、江戸期から現代までの人々の生活を彩った各時代のヒット商品（約80～90点）を展示する。

②ワークショップ「染付有田皿山職人尽し絵図大皿」の再現

一般の方々に工房の一部を体感してもらい、新しい消費者層の開拓を図るため、百貨店内に工房を設け、各窯元より選抜された職人や伝統工芸士によるろくろや絵付けのパフォーマンスを見せるとともに、特別に設置する窯で焼成する。

③有田焼400年の伝統工芸の粋、有田焼の技法紹介

人間国宝から伝統工芸士や個人作家に至るまで、陶芸における最高の技術を輩出してきた有田焼400年の匠の技を技法別に紹介する。

- ・染付、染錦、錦（色絵）、白磁、青磁、天目・辰砂等の色釉、象嵌など



個別事業概要【主催事業】

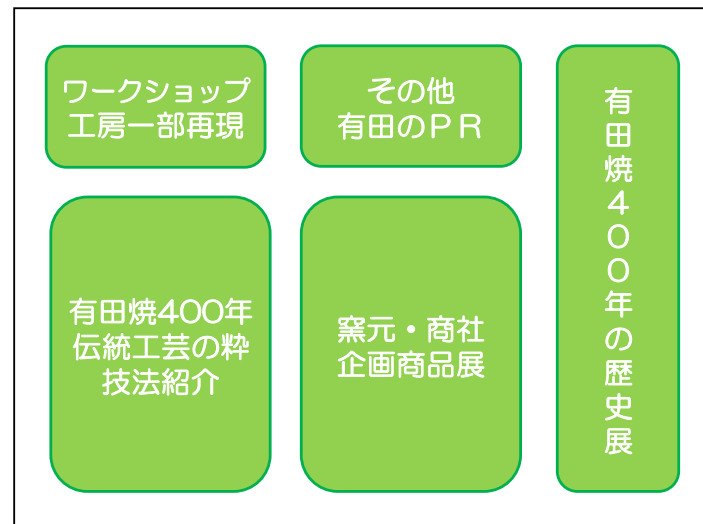
有田焼の展示・催事 — 400年有田の魅力展 —

④窯元・商社による企画商品展

400年の歴史の中で絶えず世の中のニーズに応じてきた有田焼。その伝統に裏打ちされた技術により、現代の窯元・商社が一体となって、今、そしてこれからのライフスタイルや消費者のニーズに合わせた魅力ある有田焼の商品を提案する。

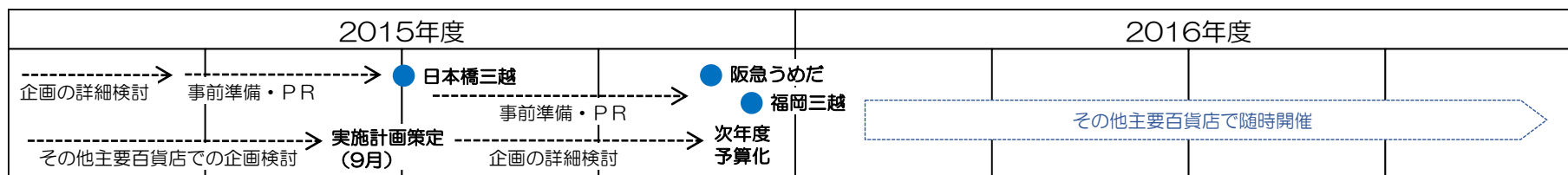
H27事業概要

- 開催に向けた諸準備（企画内容の詳細検討、事前準備など）
- 開催周知のための各種広報宣伝活動
 - ・百貨店が発刊する顧客向け通信誌への掲載
 - ・百貨店が連携している新聞やテレビ等のマスメディアの活用
 - ・その他、実行委員会独自の広報宣伝活動
- 日本橋三越本店・阪急うめだ本店・福岡三越にて随時開催
- 2016年度（平成28年度）開催に向けた調整・検討など
- 概算予算 41,500千円
（日本橋三越本店・阪急うめだ本店・福岡三越）
- 【内訳】
 - ・有田焼400年の歴史展開催費
 - ・ワークショップ開催費
 - ・パブリシティ費（新聞折込、ポスター印刷、小冊子作成など）
 - ・開催諸費（スタッフ旅費、会場警備費、郵送料など）



催事場イメージ（約300坪）

※詳細は別添資料のとおり



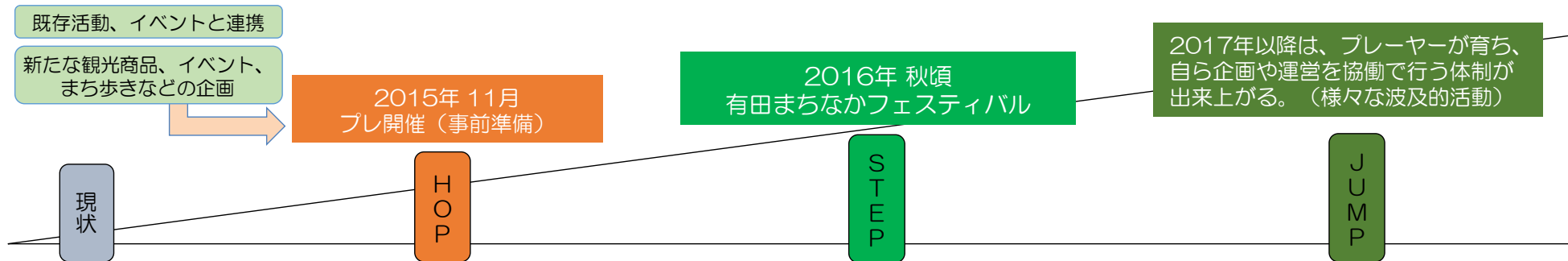
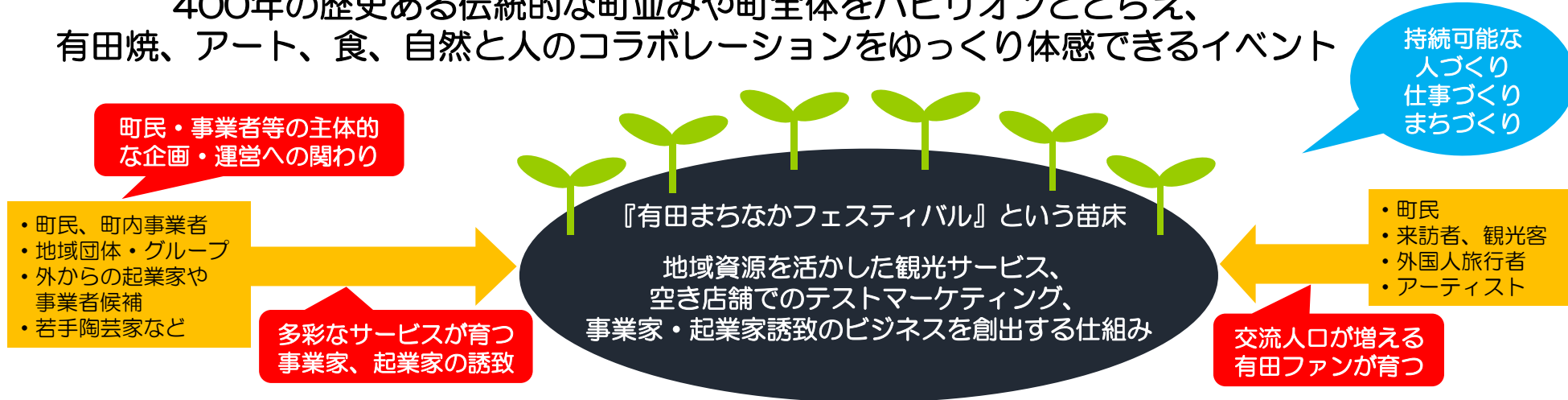
個別事業概要【主催事業】

観光集客イベント — 有田まちなかフェスティバル —

目的・意義

観光まちづくりのスタートとして継続的な地域活性化につなげるため、既存イベントや関係団体等と連携しながら有田焼の伝統と魅力を多くの人に体感してもらう展示・催事等を行うとともに、地域住民・事業者等の主体的な企画と運営による有田の地域資源を活用した様々な体感・体験型のプログラムも盛り込み、新たな観光サービスの創出や担い手づくりにつながる仕組みづくりの場として、魅力満載の催事を開催する。

400年の歴史ある伝統的な町並みや町全体をパビリオンととらえ、有田焼、アート、食、自然と人のコラボレーションをゆっくり体感できるイベント



個別事業概要【主催事業】

観光集客イベント — 有田まちなかフェスティバル —

事業概要

■開催時期

2016年 秋頃（期間については今後検討。事前準備とPRのため、2015年11月にプレとして一部開催。）

■内容（効果的な情報発信・集客を図りながら継続的な取組みにつなげていくため、有田商工会議所・有田観光協会と連携。）

- ①地域住民や事業者等の主体的な企画（参画者を募集し、様々な観光プログラムを町内各所で実施してもらう。）
- ②集客力の高い特別な企画（多くの方々の関心を集めるような集客力のある特別な企画を会期中に行う。）
- ③その他
 - ・町内の既存イベントや催事等との連携
（会期中に町内で行われる各種の既存イベントや催事等と連携を図り、相乗効果による町内への集客UPを図る。）
 - ・県や周辺市町等のイベントや催事等との連携
（会期中に県や周辺市町等が行われるイベントや催事等とも連携を図り、広がりを持たせることで、相乗効果によるお互いの情報発信や集客UPを図る。）
 - ・総合案内と町内の二次交通体制
（会期中の各種イベントや催事等を総合的に案内する場所や町内を周遊するシャトルバス等の二次交通も用意する。）

H27事業概要

- 開催に向けた諸準備（企画内容等の検討、実施計画等の策定、事前PRなど）
- 2015年11月のプレ開催の実施
- 連携を図る他のイベントや催事等との調整・検討



（例示）アリタマルシェ

2015年度				2016年度			
企画内容等の検討	→	実施計画策定 (9月)	→	次年度 予算化	←	開催準備・PR	←
		○ プレ開催	←				←
						●	←
						有田まちなか フェスティバル	←

個別事業概要【主催事業】

未来へつなぐ企画 — 子どものための企画 —

目的・意義

将来を担う子ども達が、有田焼創業400年事業を自分達のこととして記憶に残るような参画をしてもらうことで、郷土に対する愛着を持ち、誇りに思う心情を育てるとともに、子ども達が将来有田を離れても、有田の良さを語り、アピールすることが出来れば、有田の産業や観光の振興につながって行くことが期待できる。

事業概要

■開催時期

未定 ※内容と合わせて関係者等と協議、検討を行う。

■内容

未定 ※内容は関係者等と協議、検討を行う。

- (案) ・有田の伝統芸能である皿踊りを次世代に継承していくために、子ども達による皿踊りを行う。
 - ・有田の伝統産業である有田焼を次世代に継承していくために、子ども達による陶芸展を行う。
 - ・有田の今の風景を刻み、次世代に伝承していくために、子ども達によるスケッチの陶板制作を行う。
- ※他のイベント・催事等と連携して実施することも検討する。

H27事業概要

- 取り組む内容の協議、検討
- 必要に応じて実施に向けての事前準備
- 必要に応じて随時実施



2015年度			2016年度		
取り組む内容の協議、検討	実施に向けた準備	次年度 予算化	実施に向けた準備・随時実施		
			実施期間（想定）		

個別事業概要【主催事業】

未来へつなぐ企画 — 有田キッズ検定 —

目的・意義

将来を担う子ども達が、検定を通して有田焼や有田町の歴史・伝統・文化等について学び、知ることによって、郷土に対する愛着を持ち、誇りに思う心情を育てるとともに、地域の良さを再発見することを通して将来的な地域活性化にもつなげる。

事業概要

■開催時期

2015年夏頃 ※詳細は今後の検討・調整。次年度以降の開催についても検討を行う。

■内容 ※詳細は今後の検討・調整

町内の小学5・6年生を対象に有田の歴史・伝統・文化等を題材にしたテキストを作成、対象児童全員に無料配布を行う。

受験を希望する児童を募集し、検定試験を実施する。

受験者全員に磁器製の参加賞等を贈呈し、合格者には別途、表彰を行う。

※合格者には子どもボランティアガイドとして活躍してもらうことを想定し、その資格を授与することも検討。

H27事業概要

■開催に向けた諸準備（企画内容等の検討、テキスト作成、事前学習など）

■検定試験の開催（参加児童の募集、検定試験実施など）

■開催結果の検証・活用・次年度開催の検討など



2015年度			2016年度		
企画内容等の検討 テキスト作成	● 有田キッズ 検定（夏頃）	→ 次年度 予算化	開催準備	● 有田キッズ 検定（2回目）	
		検証・活用・次年度開催 に向けた検討			

協賛事業 — やる気モリモリ支援事業 —

目的・意義

地域住民等の主体的な地域活性化の取組みを推進するため、町内に活動の拠点を置く各種団体等が、有田焼創業400年に向けて町を盛り上げるために自主的に実施する創意と工夫を凝らした事業に対して、支援金を交付する。

事業概要

■実施時期

2012年9月より実施中。 ※2016年12月実施分までを支援予定。

■内容

提出された企画書により審査会を行い、支援が決定した事業について、事業に要した費用のうち対象と認められる経費の2/3（上限：200千円）を支援する。



協賛事業 — その他の協賛・後援事業 —

目的・意義

実行委員会以外の事業主体が主体的に実施する事業で、実行委員会の取組方針等にも合致し、有田焼創業400年に関連付けて実施されることでその効果を相互に共有できる事業について、実行委員会が協力・支援を行う。

事業概要

■実施時期

2015年度より必要に応じて随時。

■想定される事業

- ・情報発信力を有するメディア等の自主的な事業に対する協力・支援
- ・内外の様々な関係団体等の共催又は後援等により、その意義や効果を広く訴求できる事業に対する協力・支援

個別事業概要【連携事業】

連携事業 — 既存イベント等の拡充 — ※町の補助事業

目的・意義

有田焼創業400年を契機に、多くの集客を図るとともに今後の通年観光のきっかけとするため、関係団体が主催する町の主要イベント等について、その魅力を高めるように拡充開催してもらい、実行委員会としても連携を図る。

事業概要

■実施時期

2015年4月～12月：プレイベント、 2016年1月～2017年3月：記念イベント

■対象とするイベント等

- 有田陶器市 ○有田夏まつり ○有田皿山まつり ○有田秋の陶磁器まつり
- 有田・食と農業まつり ○有田雛のやきものまつり



連携事業 — その他の連携事業 —

目的・意義

実行委員会以外の事業主体が主体的に実施する事業で、有田焼創業400年事業の広域的な情報発信等の効果が期待できる事業について、実行委員会として連携を図って取り組む。

事業概要

■実施時期

2015年度より必要に応じて随時。

■想定される事業

- ・消費地での佐賀県物産展と連携したPR
- ・その他、県や関連団体等が行う事業と連携したPR



— 広報宣伝活動 —

基本的な考え方

- ・ 関係機関、関係団体等とも連携しながら、創業400年を迎える有田焼及び有田町の魅力が広域的に、また幅広い層の方々に認知されるように、積極的な広報宣伝活動を展開する。
- ・ 効果的な広報宣伝手段、媒体等を活用した広報宣伝活動を展開する。
- ・ 町民及び関係者等へ浸透させることにより、町民及び関係者等自らが広報宣伝、情報発信源となるような取組みなど、マンパワーを十分に活かした展開を図る。

広報宣伝の方法等

- イベント等による広報宣伝
各種イベント等の開催や既存のイベント等とも連携して、積極的な広報宣伝活動を展開する。
 - ・ 400年有田の魅力展の開催に合わせた首都圏等でのPRイベント（2015年9月頃）
 - ・ その他、県や関係団体及び地域のイベント等との連携
- 多様なメディアによる広報宣伝
多様なメディアを活用し、迅速かつ広域的な広報宣伝活動を展開する。
 - ・ テレビ、ラジオ等による広報宣伝活動の推進
 - ・ 新聞、雑誌等による広報宣伝活動の推進
- 印刷物・工作物等による広報宣伝
各種印刷物や工作物等を制作して、機運の醸成を図るとともに積極的な広報宣伝活動を展開する。独自の印刷物や公共の広報誌だけでなく、民間の情報誌等にも積極的に情報を提供して活用する。
- その他の広報宣伝
町民、関係者等の参加、協力による広報宣伝活動の推進を図る。
PR用のノベルティグッズ等を製作、配布して、広く浸透を図る。

